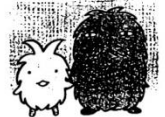


千枚田だより

つき庭とみまごう棚田 黄金色
段々に様はざ似合う 千枚田
舜二



愛・地球博
AXPO
2005 AICHI
JAPAN



棚田サミット
2005 鳳来町
四谷千枚田

第十回全国棚田サミットが佐賀県相知町(藤野の棚田)で開かれます。この項では、棚田サミットの意義を皆さんに理解していただくため、その趣旨をサミット開催の案内からお知らせします。

サミット特集

中山間地域農業の象徴である棚田は、農作業の困難性や高齢化、担い手不足が深刻化し、経済効率重視の風潮等や農業構造変化により、次第にその姿が失われつつあります。このような中で、棚田を守り後世に残していこうと全国の賛同者が平成七年に高知県梺原町に集い、全国棚田(千枚田)連絡協議会を発足させ棚田保全等について話合ったことが、棚田サミットの始まりであることは皆様ご承知の通りです。

その後、毎年各地でサミットが開催され、棚田が持つ国土・環境の保全・水資源の涵養、良好な景観形成や保健保養等の多面的機能が評価されることとなり、第二回の棚田サミットにおいて直接補償制度の創設が提案され、平成十二年度に国において中山間地域等直接支払制度の創設をみえています。そして、今年第十回という節目を迎

るとともに、中山間直接支払制度も本年度で一つの区切りを迎えます。さらに、第五七回国連総会では本年を国際コメ年として宣言することが決議されており、棚田の主生産物であるコメについて世界的に注目が集まっています。

佐賀県相知町の藤野の棚田は平成十一年七月農林水産省の「日本の棚田百選」に認定され、棚田米の生産とブランド米としての販売に力を注ぐ一方、棚田を主舞台に年間を通して様々なイベントを実施し、都市住民との交流促進を図っています。また、佐賀大学農学部と町で地域間交流協定を締結し、棚田の遊休農地の利活用を柱とする棚田保全活動を進めています。

棚田の保全活動は、時代の要求と地域の取組条件の差により微妙な違いをみせて進展していません。しかし、今後の棚田の維持・保全、並びに条件不利地である中山間地域での農業・農村の振興を考えると、直接・間接を問わず都市住民等多くの国民の理解と支援を得ることは必要不可欠であると考えています。そこで、棚田に思いを寄せる人々が一堂に会し、保全の意義や必要性をお互いに理解し、多様な視点から棚田を捉えるなか

で、都市住民を含めた多くの国民の理解と合意を得て、今後の中山間地域の更なる活性化につなげようと、ここに第十回全国棚田(千枚田)サミットを開催することと致しました。

全国棚田(千枚田)連絡協議会
会長 岐阜県恵那市長 森川正昭
二〇〇四年全国棚田(千枚田)サミット実行委員会
会長 佐賀県相知町長 大草秀幸

第十回全国棚田(千枚田)

サミット参加について

メインテーマ:サミット10年日本の「農」と「食」
を見直そう!棚田からの提案...と題して九月三日(金)、四日(土)、佐賀県相知町(藤野の棚田)で開催されるサミットに連谷地区から次のメンバーが参加します。

- 連谷・四谷区長 二名 連谷公民館長 一名 町農業委員会 一名 鞍掛山麓千枚田保存会 十名 田吾作 四名 千枚田売店の会 四名 連谷サミットお助け隊 五名 計廿七名

来年行われるサミットの情報収集と生きた文化遺産四谷の千枚田の活性化に意欲をもって、全員が参加費(二部)負担で出席します。

海老地区委員会

サミット協力依頼

いよいよ来年九月に開催される第十一回全国棚田(千枚田)サミットの海老地区全体への周知を図るため、去る八月七日(土)に開かれた海老地区委員会に千枚田保存会から小山副会長他が出席し、サミット開催に向けての協力依頼を行いました。

保存会の設立からの概要、サミットに向けての環境整備の進捗状況、サミット開催時の行事内容等を説明し、席上、委員からも全町的な広報による周知の必要性など前向きな発言が出され海老地区一体となった協力的体制がこれから進められる事になりました。

【出席者】海老地区委員会 小笠原委員長(下町) 今泉副委員長(千原田) 浦川(中町) 塚田(滝上) 鈴木(副

川) 池田(塚島) 竹内(入洞) 浅井(川売) 夏目(須山) 山口(山中)各委員

千枚田の棚田展

八月十日から十五日まで国際コメ年を記念したアジアの原風景棚田体験展が東京日本橋三越本店で開催され、会期中、約五万人の観客が訪れ、アジアの棚田のスケールの大きさ、棚田の果たす機能、役割などを観覧しました。

鳳来町からは、四谷の千枚田の紹介はもちろん、鳳来寺山や東照宮の写真紹介、長篠合戦図(屏風)、火縄銃、九六鋏、鋤簾などを展示、観光鳳来町をアピールしました。
十日のフォーラムでは鳳来町を紹介するパネルの前で韓国、フィリピンなどアジア諸国の意見発表会がありました。

また、親子の水鉄砲作りやミュージカルも行われ賑わいました。十一日には棚田学会の総会が開かれ、町長さんが議長を務めるなど、我が鳳来町にとっては有意義な棚田展でした。

棚田展余話

東京都足立区の吉田さんから棚田展の感想として、
(多数の千枚田を見た中で、国内ではご当地の四谷千枚田のスケールの大きさに惹かれました。私はカメラ撮影を趣味にしておりますので、是非ご当地へ撮影旅行に行きたいと考えております。鳳来町の詳細の地図と撮影に相応しい時季等を教えて頂きますよう、よろしくお願いいたします。)とメールが届きました。

千枚田観察会

七月二十五日の観察会は雷雨の中、びしょ濡れになり行われました。それでも

参加した親子は楽しい思い出づくりができたと言っており、喜んでおりました。



景観保全活動

サミットに向け、度々の出役ご苦労様です。

八月二十二日(日)に松下の馬頭観音周辺県道沿線の枝払及び伐採を行います。

当日は保存会員の他に地元や連谷サミットお助け隊のボランティアで作業が行われます。

休耕田に菖蒲を植える

環境美化運動の一環として細尾前の休耕田にシヨウブを植えました。

テレビ収録

中京テレビの人気番組「食材の旅」でテレビスタツフやタレントが田植から収穫までの野良仕事を田吾作のメンバーと千枚田で取り組んでいます。

十四日には身平橋の伝承行事「はねこみ」が、十八日には宮崎美子の千枚田で野良仕事をするシーンが収録されました。

放送は九月十一日(土)、午後五時からの中京テレビ「クスクス」で予定されています。

湧き水

▽千枚田の稲もちよつと色気づいてきた。今年はお天道様にも恵まれ豊作はまず間違いない。イノシシさえ出にゃあんの…

行 平成十六年八月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文責 小山 舜二